

開発基本方針

- ・MMLはモジュールの集まりであり、モジュールのラッパに過ぎないという考えの元に、MMLモジュールをSOAPで包むこととする。
- ・MMLルートタグは、SOAPエンベロープとする。
- ・MmlHeaderは、SOAPヘッダとする。
- ・MmlBodyは、SOAPボディとする。
- ・モジュール単位のルートタグ(MmlModuleItem)をクエリコマンドに置き換える。
- ・クエリコマンドは、モジュールもしくは文書ヘッダの追加、修正、要求、削除とし、それぞれの応答コマンドも用意する。
- ・患者ID照会、マスタ(テーブル)要求などのコマンドも用意する。

サンプルを参照。

クエリコマンド

エレメント名	機能	解説
リクエストコマンド		
mmlQ:appendModule	モジュール追加	文書を新規に追加する。
mmlQ:appendList	文書ヘッダ追加	文書のディレクトリーサービスを行うアプリケーションに対し、文書が追加されたことを通知するために用いる。
mmlQ:correctModule	モジュール修正	既に存在する文書に対して、修正を行う。
mmlQ:correctList	文書ヘッダ修正	文書のアクセス権等に修正が発生したときに、通知する。
mmlQ:getModule	モジュール要求	文書を要求する。属性で、文書種類コードと検索期間を指定する。
mmlQ:getList	文書ヘッダリスト要求	文書ヘッダリストを要求する。属性で、文書種類コードと検索期間を指定する。
mmlQ:deleteModule	モジュール削除	既に存在する文書に対して、削除を行う。物理的に削除を行うか、ユーザーインターフェイス上非表示とするかは、受け取り側アプリケーションの実装に
mmlQ:getPid	患者ID照会	患者ID検索のために、患者識別情報モジュールを送信する。
mmlQ:getMaster	マスタ(テーブル)要求	マスタ(テーブル)を要求する。
応答コマンド		
mmlQ:appendModuleResponse	モジュール追加応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:appendListResponse	文書ヘッダ追加応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:correctModuleResponse	モジュール修正応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:correctListResponse	文書ヘッダ修正応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:getModuleResponse	モジュール要求応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:getListResponse	文書ヘッダリスト要求応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:deleteModuleResponse	モジュール削除応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:getPidResponse	患者ID照会応答	対応するコマンドの応答
mmlQ:getMasterResponse	マスタ(テーブル)要求応答	対応するコマンドの応答
エラー応答コマンド		
SOAP-ENV:Fault	エラー応答	対応するコマンドのエラー応答